

## 調布市市長候補者施策アンケート（回答）

### < 深大寺保育園の民間委託問題に関して >

1 公立保育園の存在意義について、また、公立・私立、認可・認可外を問わず保育園の保育内容と質を守り向上させるための市の役割について、どのようにお考えですか。

（回答）

市は、子どもを心身ともに健やかに育成する責任を有しています。この点から保育行政について考えますと、市の役割は、様々なライフスタイルや就業形態などに応じた保育サービスを提供することにあります。このため、特に施設整備を進め保育環境の向上に努めるとともに、保育内容の質を確保するため、東京都と連携して保育園の指導・監督・さらに具体的に支援の手を差し伸べることにあると考えています。

さらに、保育園は公立、私立を問わず、地域の子育て支援の拠点施設であると考えています。

2 深大寺保育園の民間委託が決定された場合、その父母や市民の要望をどのように反映させるのが望ましいとお考えですか。

（回答）

何よりも子どもたちが健やかに成長できるように、保育園が運営されなければならないと考えています。そのためには、保護者の要望や意見を適切に取り入れる必要があり、第三者評価制度などを活用し、利用者の満足が得られる保育サービスの提供に努めます。

### < 待機児解消について >

1 待機児解消についてどのようなお考えをお持ちですか。

（回答）

早急に解消するべきであると考えています。このため、新たに制度化された認証保育制度なども積極的に活用しているところです。さらに、認可保育園の施設整備や定員の弾力化など、様々な施策を積極的に展開し、平成16年4月から待機児をゼロにします。

< 学童クラブに関して >

1 1学区1学童クラブの必要性に関しどのようにお考えでしょうか？

(回答)

これまで児童館併設方式を採用してきました。この数年、ライフスタイルの変化や就業形態の多様化から学童クラブの入会希望者が増大しています。子どもたちの友人関係や通所距離など、子どもの視点から学童クラブのあり方を再検討し適正に配置します。

2 分室の嘱託員制度、嘱託員の導入及び任期に関してどのようにお考えでしょうか？

(回答)

嘱託員制度は2年目を迎えたところです。導入当初はとまどいもありましたが、現在では保護者の方々から一定の評価を受けています。しかし、制度の導入から日が浅く、もう少し時間をいただいたうえで、総合的に評価して参ります。

3 障害児童の受け入れ体制の学年緩和に関してどのようにお考えでしょうか？

(回答)

障害児童のみならず学年緩和につきましては、以前から要望をいただいています。当面、学童クラブの待機児解消を図るための対策を講じます。平成14年度には、障害児童の定員枠を原則として、1学童2人から4人に拡大いたしました。

今後、学童クラブの適正配置を進める中で、学年緩和にも対応して参ります。

4 現在二つの小学校で実施されている放課後遊び場対策事業『ユーフォー』はあくまでも学童クラブ事業とは切り離された事業と認識していますが、今後のユーフォーの展開についてどのようにお考えでしょうか

(回答)

子どもの安全な居場所づくりとして、ユ-フォ-事業と学童クラブ事業を適切に組み合わせることが必要であると考えています。従いまして、今後のユ-フォ-事業の展開につきましては、学童クラブの適正配置との整合を図りつつ、設置して参ります。

5 23区内では大半、三多摩でも過半数の自治体が実施している中学校の牛乳だけでない完全給食が調布ではまだ実施されていません。今後の実施及びこのような状況に関してどのようにお考えでしょうか？

(回答)

現在、調布市では、あっ旋弁当方式を実施し、お弁当を持参できない子どもへの対応を図っています。今後、小学校給食の調理業務の運営方法を見直し、財源の確保を図ったうえで、再度、保護者、教職員そして生徒の意見を聞き、給食の提供について対策を講じて参ります。

<子育て施策全般に関して>

1、調布の子育てに関して、どのような施策をお考えですか。

(回答)

当面の課題は、いわゆる待機児の解消であると認識しています。従いまして、保育サ - ビスや学童クラブの充実施策を展開します。また、子育ての経済的負担を軽減するために、乳幼児医療費助成制度における所得制限を緩和する必要があります。具体的には、現在、ゼロ歳児には所得制限がなく、実質的に医療費が無料となっておりますので、その対象年齢を拡大します。さらに、ひとり子どもに焦点を当てて、福祉、教育、文化、防犯など総合的に施策を展開し、子どもの笑顔輝くまちづくりを進めます。

2 子育ての施策に関わる予算についてどのようなお考えかお聞かせください。

(回答)

子ども施策につきましては、市政の重要課題と位置付けています。認証保育所やユ - フォ - の設置、子ども施設の安全対策など、予算を重点的に配分してきました。次代を担う子どもたちの健やかな成長こそ、活力あるまちづくりの源泉です。今後も予算を重点配分して参ります。